

自動車部品メーカーのシグマ（広島県呉市）は、金属・樹脂精密複合部品の一貫生産を得意とし、中でもワイパーシャフトは世界トップ級のシェア15%（同社調べ）を誇る。自動車産業は百年に一度の転換期にあり、脱炭素への取り組みは、部品サプライヤー勝ち残りへの必須条件だ。

環境規制の厳しい欧州では完成車メーカー（OEM）に、サプライチェーン（供給網）脱炭素化する」（同社）と危機感をの動きが広がる。「対応 抱き、2022年に西口の遅れが事業存続に関わ 本の自動車関連中小企業

# シグマ

## モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦

2

### 加温にヒートポンプ×電熱線



# 事業継続にCO2削減必須

で初のサイエンス・ベール21年比で42%の二酸化炭素削減目標を達成。30年に設定した。

消費電力が上がっている。電熱線が昇温を補助する。現場が使いやすいツールを開発して原因の深掘りや改善効果の検討は加速。特に電力使用量は加速。特に電力使用量は加速。特に電力使用量は加速。

改善に向けて大量のエネルギーを使う工程を調べる。エアバッグ部品の洗浄で「設備の導入後に突然、洗浄工程で使う温水の昇温。ヒートポンプと電熱線の併用で、省エネルギーと生産性を改善した。

【事業所概要】▽所在地＝広島県呉市警固屋9の2の28、08233・288・01211▽主要生産品＝自動車用ワイパーなどの視界部品、エアバッグなどの安全装備部品▽年間CO2排出量＝2573トン（21年）